

はまかせが聞く 歯科治療最前線

歯科治療における 再生治療の活用

取材協力: 医療法人社団 友生会
理事長 山口 剛先生

☎ 045(754)1181

歯科治療において、口腔内の歯肉や骨の組織再生を促すためCGF(濃縮成長因子)という療法を使うことがあります。新しい療法ではありませんが、歯科領域では未だ浸透していません。



血液から成長因子を抽出する遠心分離機

患者さん自身の血液を採取し、遠心分離器に十数分間かけるとゲル状のフィブリンを抽出できます。このフィブリンには①創傷治癒の促進、②感染抑制、③疼痛緩和を促す成長因子が多く含まれているので、たとえば抜歯後の空隙に入れることで骨や歯肉の治りが早く、痛みや腫れを和らげることができます。CGFは自分の血液を分離させて作られるので、当然ですがアレルギー反応がなく生体親和性の高い材料と言えます。

再生医療として有名なのは、同じく自分の血液を使うPRP療法が医療の様々な分野で使われています。PRPは以前に歯科でも使われてきましたが、最近では同様の効果が得られて簡単にできるCGFに替わってきています。自分の体内に元々ある成分を取り出し、必要な局所に投与することができ、安全で有効な治療法として期待できます。

取材協力▼

- ・ 山口歯科医院
- ・ 友生歯科医院
- ・ PRP/CGF友生歯科医院

取材▼はまかせ新聞

患者さん自身の血液

を採取し、遠心分離器

に十数分間かけるとゲ

ル状のフィブリンを抽

出できます。このフィ

ブリンには①創傷治癒

の促進、②感染抑制、

③疼痛緩和を促す成長

因子が多く含まれてい

るので、たとえば抜歯

後の空隙に入れること

で骨や歯肉の治りが早

く、痛みや腫れを和ら

げることができます。

CGFは自分の血液

を分離させて作られる

ので、当然ですがアレ

ルギー反応がなく生体

親和性の高い材料と言

えます。

再生医療として有名

なのは、同じく自分の

血液を使うPRP療法

が医療の様々な分野

で使われています。PR

口野球選手の大谷翔平

選手はひじ靭帯を損傷

した際に外科手術を選

択しましたが、田中将

大選手は温存療法とし

てPRP療法を選択

し無事復帰したことは

よく知られています。

PRPは以前に歯

科でも使われてしまし

たが、最近では同様の

効果が得られて簡単に

行えるCGFに替わ

ってきています。自分

の体内に元々ある成分

を取り出し、必要な局

所に投与することがで

きる、安全で有効

な治療法として期待で

きます。

取材協力▼

・ 山口歯科医院

・ 友生歯科医院

・ PRP/CGF友生歯科医院

取材▼はまかせ新聞